

船舶事故調査報告書

令和元年11月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（岸壁）
発生日時	令和元年5月25日 18時10分ごろ
発生場所	北海道稚内市稚内港中央ふ頭耐震岸壁 稚内港第2副港防波堤灯台から真方位061°443m付近 （概位 北緯45°24.9′ 東経141°41.1′）
事故の概要	旅客船兼自動車渡船ボレアース宗谷は、着岸作業中、岸壁に衝突した。
事故調査の経過	令和元年6月7日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	旅客船兼自動車渡船 ボレアース宗谷、3,578トン
船舶番号、船舶所有者等	132885、ハートランドフェリー株式会社（A社）
乗組員等に関する情報	船長、三級（航海）
負傷者	なし
損傷	本船 左舷船尾部防舷材に凹損及び擦過傷 岸壁 防衝板に破損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風速 約12m/s、視界 良好 海象：波高 約3m、潮汐 下げ潮の初期 稚内市には、5月24日15時41分に強風注意報が発表され、本事故時も継続中であった。
事故の経過	本船は、船長ほか14人が乗り組み、稚内港の中央ふ頭南東端から西方に長さ約135m、次いで南方に長さ約25mのL字型をした‘稚内港中央ふ頭耐震岸壁’（以下「本件岸壁」という。）に船首を東方に向けて出船左舷着けで着岸作業を行っていた。 本船は、右舷錨を投下して錨鎖を9節繰り出し、左舷ヘッドラインを取った後、機関を中立として惰力で右回頭中、本件岸壁に強く接触するのを避ける目的で右舷船尾方に設置された岸壁上の係船ビットに右舷スタンラインを取り、その後左舷スタンラインの順に係留索を取ろうとしていたところ、風上側の右舷スタンラインを取るのが遅れ、南寄りの突風に圧流されて左舷船尾部が本件岸壁に衝突した。
分析	本船は、風速約12m/sの南南西風が吹く状況下、L字型の本件岸壁に船首を東方に向けて着岸作業中、風上側の右舷スタンラインを取るが遅れたことから、南寄りの突風に圧流され、本件岸壁に衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、風速約12m/sの南南西風が吹く状況下、本船が、L字型の本件岸壁に船首を東方に向けて着岸作業中、風上側の右舷スタンラインを取るが遅れたため、南寄りの突風に圧流され、本件岸壁に

	衝突したものと考えられる。
再発防止策	<p>A社は、本事故後、南寄りの風が強い場合に、中央ふ頭北側の北岸壁に着岸できるよう手配した。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 風下側の岸壁に着岸する際は、風の影響を考慮し、主機、舵、係船索等を適切に使用すること。